

NVM 書き換え手順書

※ 別途付録図を同時参照願います。

1. ツール(CBpro v4.8)のインストール

- ・ ClockBuilder-Pro-4.8.exe を実行。(付.図①)
- ・ インストール画面が表示される。付.図①～④の通り“NEXT”ボタンクリックで進む
- ・ インストールが自動的に実行される。(付.図⑤)
- ・ USB ドライバのインストールを促されるので実行する。その後、インストールが完了する。
- ・ CBpro をデスクトップアイコンから実行するとメイン画面が表示される。(付.図⑥)

2. フィールドプログラマの接続

- ・ 黒い本体(以下,ドングル)にソケットボードと USB ケーブルを接続する。
- ・ USB ケーブルを PC に接続する。PC がドングルを認識する。(付.図⑦)
- ・ CBpro が既に起動されていれば,ドングルが自動的に認識される。(付.図⑧)
- ・ “NVM Burn Tool”ボタンをクリックすると認識画面が表示される。(付.図⑨)
“Select Project ...”ボタンをクリックして設定ファイル
(例: Si5394-RevA-example-20230314Project.slabtimeproj)をロードする。

3. プログラム内容の書き換え

- ・ ソケットボード上の IC ソケットに IC をセットする。(付.図⑩)
- ・ IC が認識されて情報が表示され,“Burn NVM”が有効になる。(付.図⑪)
NVM:情報は”1 bunk used, 2 banks available for burn”となっている。(ブランク品,カスタム品共通)
- ・ “Burn NVM”をクリックすると書き込みが実行される。(付.図⑫)
- ・ 書き込みが完了して正常終了(✓マーク)画面が表示される。Design ID は“(empty)”に変わる。(付.図⑬)
- ・ NVM:情報は”2 banks used, 1 bank available for burn”となっている。“OK”をクリックして終了。(付.図⑭)

4. 注意事項

- ・ PC がネットワークに接続していると CBpro の起動時にバージョンアップデートを促される画面が自動的に表示される場合があるので”Ignore This Release”をクリックする。(ダウンロードしない) (付.図⑮)

5. 参考情報

- ・ NVM:情報が”2 banks used, 1 bank available for burn”であと一回書き込みが可能となり,この状態から再度書き込みを実行すると”3 banks used, 0 bank available for burn”に変わり再書き込み不可となる。(付.図⑯)
- ・ ソケットボード上の IC ソケットには通電状態で IC をセット/取り出し可能。(ツール動作中は不可)
- ・ メインメニューの”EVB GUI”クリックで,ソケットにセットされている IC のレジスタ情報が取得可能。
特定アドレスのレジスタ値を確認することが出来る。(付.図⑰～⑳)